

目黒区地域公共交通会議 議事概要

名 称	令和4年度 目黒区地域公共交通会議（第1回）
日 時	令和4年9月2日（金）10：00～11：30
会 場	中目黒住区センター室 第5・6会議室 （目黒区中目黒2-10-13 中目黒スクエア内2階）
出 席 者	委員の出欠については、別紙「出席者名簿」のとおり 事務局 都市整備部みどり土木政策課 清水、山下、庭田 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 4名
会議の公開 非公開	公開
傍聴者	0人
配付資料	資料1 目黒区地域公共交通会議委員名簿 資料2 目黒区地域公共交通会議設置要綱及び傍聴要綱 資料3 東部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について 資料4 北部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について 資料5 令和3年度第1回目黒区地域公共交通会議議事概要 及び意見
会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 議題 （1）東部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について 4 報告事項 （1）北部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について 5 その他 6 閉会

会議の経過及び発言内容

【議事進行】

次第1「開会」

会長（都市整備部長）より挨拶。

次第2「委員紹介」

資料1「目黒区地域公共交通会議委員名簿」のとおり、事務局より報告。

【補足説明】

事務局 委員の一部に変更があったことを報告。

資料2「目黒区地域公共交通会議設置要綱及び傍聴要綱」について事務局より概要説明。

【補足説明】

会長 目黒区地域公共交通会議傍聴要綱に基づき、本会議を公開とし、傍聴可能とした。本日の傍聴希望者はいないことを報告。

【議事進行】

次第3「議題（1）東部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について」

資料3「東部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について」の概要について事務局より説明。

また、運行車両について、日野自動車の不正問題により新規受注の見通しが不明で、今後も注視していく旨を説明した。

【質疑応答】

委員 他の自治体と比較し、非常に丁寧に関係各者との調整を行っており、経緯についても理解しやすい資料としてまとめている点が評価できる。実際に調整をされた方々への質問であるが、この後さらなる調整・修正があるかもしれないが、実務においてルートを実走するにあたりどのような状況になりそうか、見解についてお伺いしたい。また、交通管理の観点からも安全性の確保について厳しい目でチェックされたと思うが、特に留意すべき点などあれば伺いたい。

委員 ルートについて、全般として狭い道路の路線ではあるが、そのために今まで公共交通がなかったというのが、今回の話に繋がっていると思う。ルートは大枠として、この内容で進めていく事になると思うが、先

ほどあったように狭いところでの右左折や、駐車車両がある場所といった問題はあるので、今後も皆様と議論していきたい。

委員 交通管理の観点として、当然ながら道路交通法に準拠しつつ、狭い路線なので、歩行者との接触や対向車との接触については特に配慮していただきたい。そうした接触を含め、実際に走行する際、安全確保をどう行うかが課題と考えている。バス停の位置などで引き続き調整が進められると思うので、今後も検討願いたい。

委員 駐車車両などの動的に変わっていく問題に対してどう適切に対処していくのかも重要になると思う。通学の時間帯による交通状況の変化、荷捌きや駐車車両の状況など、動的部分をモニタリングしていくことが必要で、検討の継続及び地元や商店街の協力がどの程度必要なのか見定めていかなければならないかと思う。

委員 資料の最後にある今後の検討の流れについて、需要予測・収支予測の検討というのは具体的にどのように行う予定か。

事務局 収支率や利用率、満足度で実証運行・本格運行の判断を行うとしているが、需要予測・収支予測を正確に見極めるのは難しいと考えている。収支についても、高齢者への対応といった観点も含め区としてどこまで支援していくかということもあるるので、そのあたりも含めて検討していこうという段階である。

委員 利用意向のアンケートはオーソドックスなやり方ではあるが、その回答が利用に直結しない場合が多い。調査を行うとすれば、おそらくそれが会議に関わっていないその他の住民へのアプローチのファーストステップとなる。運行スペックをどうするかということだけではなく、住民参画、利用促進及びモニタリング等を、実証運行計画の中に含めていければよいかと思う。交通安全、実務の観点からは丁寧に調整されているので、次は実際に地域交通を利用される方々についての検討も深められるとよい。

会長 大切な点をご指摘いただいた。今回の検討内容について、皆様のご意見が反映されたものとなっているかご発言をいただけないか。

委員 働く側からすると、厚生労働省が出す改善基準告示などいろいろな制約があることも周知していただけるとありがたい。事業者任せではなく、区民の方にも知っていただきたい。

事務局 地元協議会の中で区民の方々に向けてそうした内容を周知していきたい。

委員 運賃は220円と設定されているが、シルバーパスの利用可否の計画はあるか。

事務局 収支を考えると、シルバーパスの利用は難しい状況であるが、可能性については検討していきたい。

委員 資料11ページの降車フリーのバス停というものは、どういったものか。また、検討の段階で運行ルート案から無くなっているが、どういった状況か。

事務局 当初、降車フリーのバス停の設置を検討していたが、実際に現地を確認した結果、安全に降車させられる場所がないことや降車専用停留所の供用が困難なことなどから、設置しないこととした。

会長 事務局としても気づかない点もあるので、この先検討を進めるにあたって注意すべき点などがあればご発言いただくとありがたい。他にご意見がなければ、東部地区については本日の内容で合意いただいたということによいか。

委員 異議なし。

会長 東部地区については、この内容で進めていく。

【議事進行】

次第4「報告事項(1)北部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について」
資料4「北部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について」の概要について事務局より説明。

【質疑応答】

委員 北部地区の実証運行の時期は決まっているか。また東部地区についても、今回の日野自動車の件がなければいつごろスタートする予定であったか。

事務局 北部地区は協議会が設立前なので、実証運行の時期は決まっていない。東部地区は車両の確保が不透明な状況ではあるが、協議会としては令和4年度内の3月からの運行を目標に進めている。

委員 交通とは少し違った視点かとは思いますが、目黒区は比較的交通の便もよく、所得も一定のレベルにある地域だと思うが、世間的には人口減少もあり空き家問題など、廃れている地域もあると聞く。目黒区内にもしそういった地域が出てきているのであれば、そこに交通を走らせることで地域の廃退を防ぐことができるのではと思う。

会長 頂いたご意見は、空き家に関することと捉えてよいか。

委員 指標の一つとしては空き家もそうであるし、そのような地域にアクセスを提供することで地域を守れるという、交通だけでない視点からも考えられるのではないかという意見である。

会長 目黒区でも空き家対策に関する協議会などを持っているが、特に空き家が増えているという地域はない。人口は増加傾向を見込んでいたが、コロナウィルスの関係で23区全体は少し人口減少方向であり、これはある意味全国規模の話であるが、目黒区では特にそのことで空き家が増えているということはない。また、目黒区の空き家は、持ち主が不明というものはなく、所有者は把握できている。区でも手伝いはするが、利便性・居住環境が優れた自治体ではあるので、何らかの形で土地の所有が移っていくというのが実態となっている。区でも空き家を放置しないように十分な支援はするが、大きな方向性としては、環境的に地域や公共交通に影響を与えるということはないと考えている。

委員 採算性や利便性が主に書かれているが、まずは安全が第一だと思う。その一つとして、先ほど他の委員からもあったが、働いている人が地域交通運行にあたり今までと違う業務、例えばデマンド型などもそうであるが、色々と働き方が変わってくることがあるということ、地域交通検討にあたって地域の方々にもぜひ理解していただきたい。そういうことがあって安全を担保しているという内容を今後の検討に是非入れていただきたい。

事務局 バスを走らせるために安全な運行の担保というのは重要である。そういったことも含めて、今後の検討を進めていく。

会長 直接関係はないと思われても、交通だけでなく広い観点からご発言をいただけるとありがたい。

委員 今回の説明を伺って、東山の中でもなぜ三丁目なのかを考えたときに、バス停からの交通圏域の円で考えたときには目黒区はそれほど不便

がないが、ODのニーズを考えたときに、O(起点)とD(終点)を繋ぐルートに関して要望が出ていると感じた。ただ、アンケートを実施した地域からの意見だけでは、採算性や持続性などの問題もある。持続可能なモビリティを成立させるためには、行政として住民にこういったライフスタイルを提案できるかといったところも含めて考えていく必要があると思う。声が上がっていない地域のこと考えるべきで、この東山三丁目地域のアンケートだけで決めていくのは危ういと思う。また、運賃について、安い方がいいという意見が多いが、他の地域との比較だけでなく、今の既存交通を利用した場合の乗換えにかかる金額などを考慮して決める必要があると思う。また、三宿病院など世田谷方面の地域の話が少し出ていたが、東山から三宿方面へは東急バスが走っており、そもそもそれほど遠くない距離だと思うが、この要望にはこういった意図があるのか。

事務局 東山三丁目だけの検討でいいのかというご意見はごもっともであり、今後、東山地域全体・駒場地域も含めた北部地区全体でモビリティを検討していく方向で進めている。三宿病院などに行きたいという要望については、東山三丁目は高低差があり、既存路線はあるものの、山手通りの既存バス停まで出るための手段がほしいという要望がアンケートに反映されているのかと思う。今後それについては、バスでなくともモバイルで運転を呼ぶサービス等も出てきているので、そうしたものも含めて検討していきたい。

会長 議題は以上となります。東部地区の運行ルート案等につきましては合意いただいたので、引き続き取り組みを進めていきます。

【議事進行】

次第「5 その他」

会長 新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、今後リモート参加を併用した会議開催としたい。

次第「6 閉会」

事務局 東部地区の運行ルート・バス停については、運行事業者や交通管理者等と引き続き協議を進め、運行ルートの修正案をまとめ、次回の地域公共交通会議で共有していく。次回の地域公共交通会議は12月頃を予定しており、東部地区や北部地区での検討や進捗状況に合わせ開催する。

以上

令和4年度 目黒区地域公共交通会議【第1回】

開催日時：令和4年9月2日(金)午前10時00分～午前11時30分

開催場所：中目黒住区会議室 第5・6会議室(目黒区中目黒2-10-13 中目黒スクエア内2階)

	所属・役職等	氏名(敬称略)	会場出欠席	Web出欠席	備考
1	目黒区都市整備部長	しみず としや 清水 俊哉			
2	目黒区都市整備部都市計画課長	さとう きんや 佐藤 欣哉			
3	目黒区都市整備部みどり土木政策課長	しみず まこと 清水 誠			
4	東京都交通局自動車部計画課長	わかた みずほ 若田 瑞穂			
5	東急バス株式会社運輸事業部運輸計画部計画課長	はらやま だいすけ 原山 大輔			
6	小田急バス株式会社バス事業本部計画部課長	ふるや ひろぶみ 古谷 弘文			
7	一般社団法人東京バス協会乗合業務部長	よねざわ あきひろ 米澤 暁裕			
8	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務部業務部長	こいけ たけし 小池 毅			欠席
9	目黒区町会連合会	みしば のぶお 三柴 伸生			
10	目黒区商店街連合会	すわ たかし 諏訪 尊			
11	目黒区老人クラブ連合会	やまくち たけし 山口 武志			
12	区民(公募)	いけうち たかし 池内 卓			
13	区民(公募)	かわはら ひろこ 川原 寛子			
14	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官	せいけ ひろゆき 清家 裕之			
15	東京都交通運輸産業労働組合協議会 バス部会事務長	さとう なおのぶ 佐藤 尚宣			
16	東京都交通運輸産業労働組合協議会 ハイタク部会事務長	くが つねお 久我 恒夫			
17	国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所管理第一課長	まつざき あきら 松崎 暁			欠席
18	東京都建設局 第二建設事務所管理課長	すずき よしはる 鈴木 義治			
19	目黒区都市整備部土木管理課長	はら あきみち 原 亮道			
20	警視庁交通部交通規制課管理官(調査担当)	ふじひら ただはる 藤平 忠晴			代理
21	警視庁目黒警察署交通課長	きくち あさみ 菊池 あさみ			代理
22	警視庁碑文谷警察署交通課長	やました のりお 山下 憲雄			代理
23	学識経験者 東京都市大学建築都市デザイン学部准教授	いながき ともゆき 稲垣 具志			